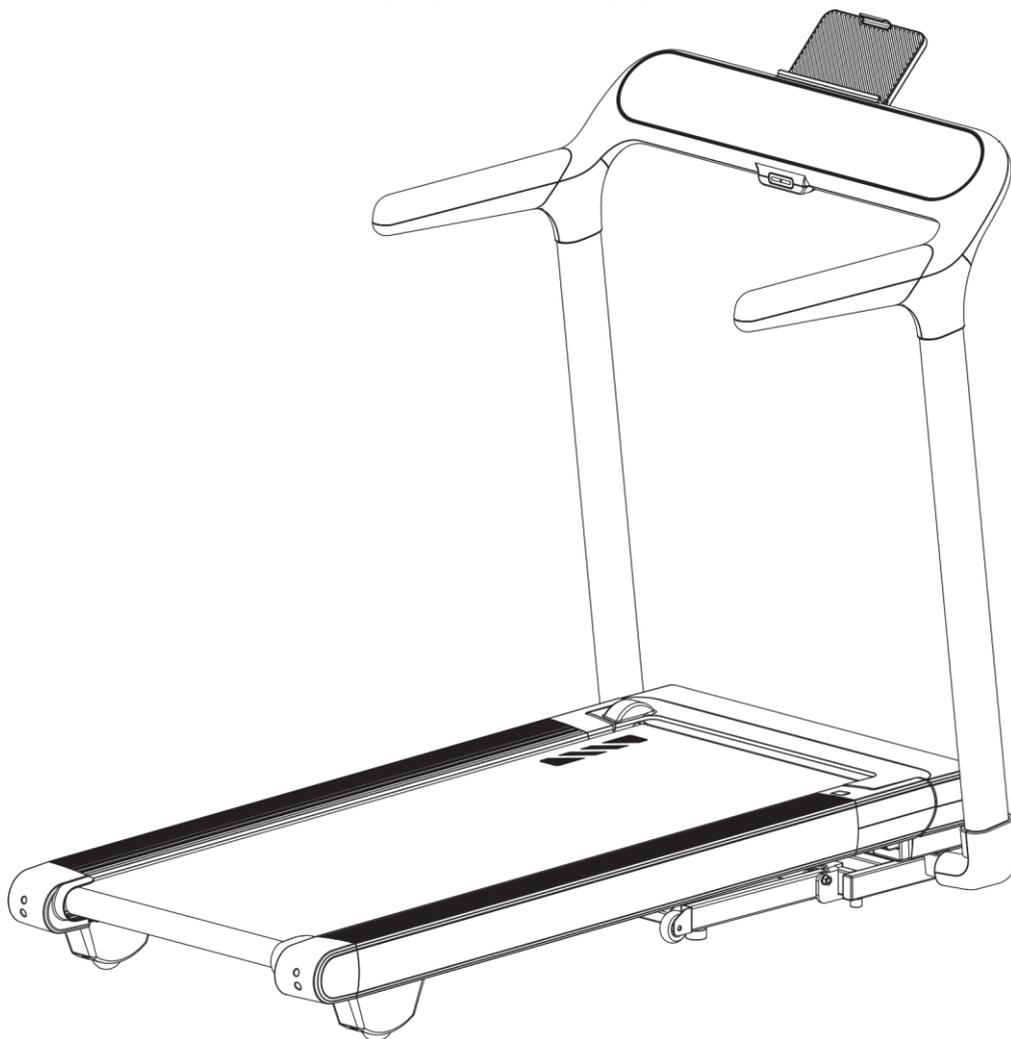




家庭用ルームランナー DK-T220Y

取扱説明書



この度は【ルームランナー DK-T220Y】をお買い上げいただきまして、誠に有難うございます。

◎ 本説明書を最後までお読み頂き、内容をよく理解した上で作業や運動を行うようにして下さい。

- ◎ 本書の巻末に「保証書」がついていますので、送り状の控えまたは購入日が証明できる書類等とともに大切に保管して下さい。
- ◎ ご不明な点がある場合その都度読み直して頂き、正しくご使用下さい。
- ◎ 本機は家庭用です。改良のため、デザイン・仕様を一部変更している場合があります。
- ◎ 計測数値等に関しましては、多少の誤差がございますので御了承ください。
- ◎ 検品後の出荷になりますので本体に組傷やコスレ等が生じることがございますので、ご了承ください。

安全上の注意

取扱説明書の注意及び警告内容は、危険の度合いによって2段階に分かれております。記載されている内容をよく理解していただき、取扱説明書に従ってご使用ください。いずれも安全に関する重要な内容ですので、必ず守ってください。



警告 誤った取扱いをすると人が死亡又は重傷を負う可能性が想定される内容



注意 誤った取扱いをすると人が障害を負う可能性及び物的被害の発生が想定される内容



警告

・ 使用上の警告

- 1) 無理をせず軽いスピードから始めて下さい。
- 2) 急激な運動は体に負担が掛かりますので、少しでも異常を感じましたら運動を中止して医師にご相談下さい。
- 2) お子様の本機で遊ばないようにして下さい。また、使用中はお子様が近づかないようにして下さい。お年寄りの方が運動されるときには、必ず付添の人をつけて行って下さい。
- 3) お年寄り・体の不自由な方、病気をお持ちの方のトレーニング・リハビリ用にご使用の場合、必ずかかりつけの医師にご相談下さい。特に次のような方(心臓病・高血圧・糖尿病・呼吸器疾患・妊娠中・ペースメーカー・人口心肺装着の方)
- 4) 基本的には分解・改造は行わないで下さい。内部点検や修理をする際には販売店までご相談下さい。
- 5) 各部の機能が正しく作動しているかどうか、またネジ・ボルト等の緩みやガタがないか、使用前に必ず点検して下さい。
- 6) 乗降する場合には、ハンドルにもたれかかったり、使用中に周囲の人が製品及び使用者を押ししたり、引いたりしないで下さい。運動の妨げとなったり、安全性を損ないケガをしたりする場合があります。
- 7) 同時に2人以上でご使用なさないで下さい。

・ 電気器具の警告事項

- ① 使用電源については、次の事項を必ず守って下さい。
 - 電源は定格 15A 以上のコンセントを単独で使用してください。他の器具と共用すると器具の加熱により火災の原因となります。
 - 交流 100V 以外で使用しないでください。火災、感電の原因となります。
- ② 電源コードの取扱いについては、次のことを必ず注意してください。間違った取扱いをされると感電の原因になります。
 - 電源コードやプラグが傷んでいたりする時。
 - コンセントの差し込みが緩い時。
 - 電源コードの上に重いものを載せた時。
 - 電源コードを曲げたり、束ねたりした状態でご使用になった時。
 - 濡れた体でプラグ・電源コード等に触れた時。
 - 長期間ご使用にならない時。
(安全のため必ず電源コードをコンセントから抜いてください。)
 - 中継線(延長コード)を御使用の時。
(延長コードで中継することにより低電圧状況を引き起こし誤作動の原因となりますので、コンセントに直接電源コードを接続して下さい。)
- ③ モーター保護のため 120 分以上の連続使用はおやめ下さい。
- ④ 万一、異常な音、におい、煙が出たときには、電源を切り、電源コードを抜いて販売店もしくは当社までご連絡下さい。(最終ページの保証書欄をご参考にご連絡下さい。)



注意

・ 使用上の注意事項

- 1) トレーニングの前後に必ずストレッチ（準備体操）を入念に行ってください。
トレーニングをするたびに、筋肉はほんの少し傷みます。そのままにしておくと筋肉が縮み、その状態で数年間スポーツを行うと、筋肉が堅い弦の様に簡単に切れやすくなります。ストレッチは、必ずトレーニング前後に行うように習慣をつけましょう。
- 2) 食後のトレーニングはやめましょう。胃に流れる血液が、体を使うことによって胃に流れにくくなって消化に影響を与えるので、食後2時間以上あけてからトレーニングをして下さい。
- 3) 必ず運動靴を履き、回転、駆動部に巻き込まれる恐れのない紐等のない服装でご使用下さい。
- 4) 運動方法につきましては、使用方法以外での使用はおやめ下さい。
- 5) 本機は一般家庭用のトレーニング機として作られています。一般家庭以外でのご使用はおやめ下さい。
- 6) 異物を商品内部に入れないでください。異物が入ったまま使用すると、故障の原因となりますので、特にお子様のおられるご家庭では注意して下さい。
- 7) 体重が 110Kg 以上の方はご使用なさらないようにして下さい。
- 8) 使用しない場合には、電源コードを抜く等作動しない状況にし特に幼児が触らない様注意して下さい。
- 9) ペット等にはご使用にならないでください。

・ 設置、保管上の注意事項

- サビの発生や負荷の調節不調、メーター等の故障の原因となりますので次の場所には設置、保管はしないで下さい。
 - ・ 直射日光、暖房設備、火気のために著しく温度が上昇する場所
 - ・ 屋外の設備（ガレージ・屋根付ガレージ等を含む）や浴室付近等の湿気の多い場所
 - ・ 砂ぼこり、磁気や電氣的雑音の発生しやすいものの近く
 - ・ 室温が著しく変化する場所、床面がコンクリートの打ちっぱなしの場所
- ご使用前にはハンドル・手すり・接合部分のガタや、緩み等がないよう確認して下さい。
- 本機は使用中の運動が十分確保できる水平な床面に設置して下さい。
- 歩行面（ベルト）には、絶対に物を置かないで下さい。
- 本体カバー部は樹脂製です。カバー部・ハンドルには絶対に寄りかかったり、乗らないで下さい。
- ベルトに局部的に亀裂が発生すると進展し、使用中に破損等して危険ですので、必ず確認してからご使用ください。
- 走行ベルトは消耗品のため、ご購入より3ヶ月以上経過したものについては有償となります。
- カバー類、ハンドル部ラバー、足踏みプレート等のプラスチック類の破損に関しては、初期不良以外すべて有償になります。
- 走行ベルトが偏ったときは走行ベルトの調節方法を参考に調整を行ってください。
- 使用場所の周囲に物を置くと、思いがけないケガや事故につながりますので、必ず整理整頓してからご使用下さい。
- 本機は必ず平らな場所に設置して下さい。
- 廊下やフローリングまたは畳の部屋で組立てやご使用になると、床を傷つける場合があります。必ず、布やカーペットを敷いて傷を付けないようにして下さい。
- 本機を廃棄する場合は、粗大ごみとして各自治体の方法に従って処理してください。
- 長期間ご使用にならない場合には、折りたたみ状態で保管しないでください。

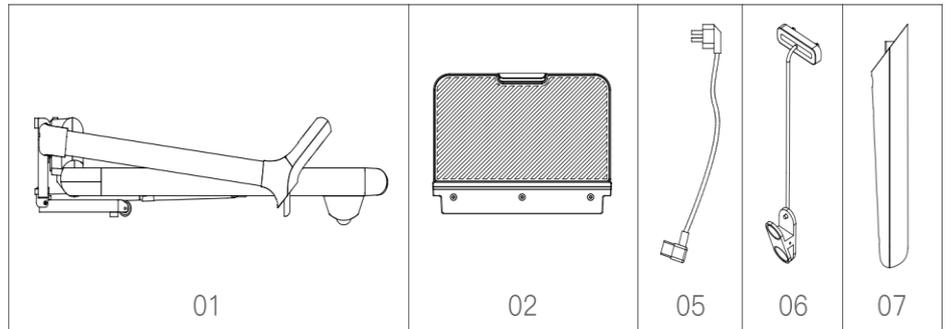
製品仕様

品名	ルームランナー	材質・構造	スチールパイプ・合板ボード
品番	DK-T220Y		ウレタン・ABS樹脂
本体サイズ	W85×L159×H133 (cm)	電源	AC100V (50～60khz)
本体重量	62kg	モーター	DCモーター
走行ベルトサイズ	W48×L125 (cm)		最大2.5馬力、平均1.25馬力
速度	1～14km/h	生産国	中国
傾斜方法	10段階（電動式）		
簡易脈拍方式	チェストベルト式		

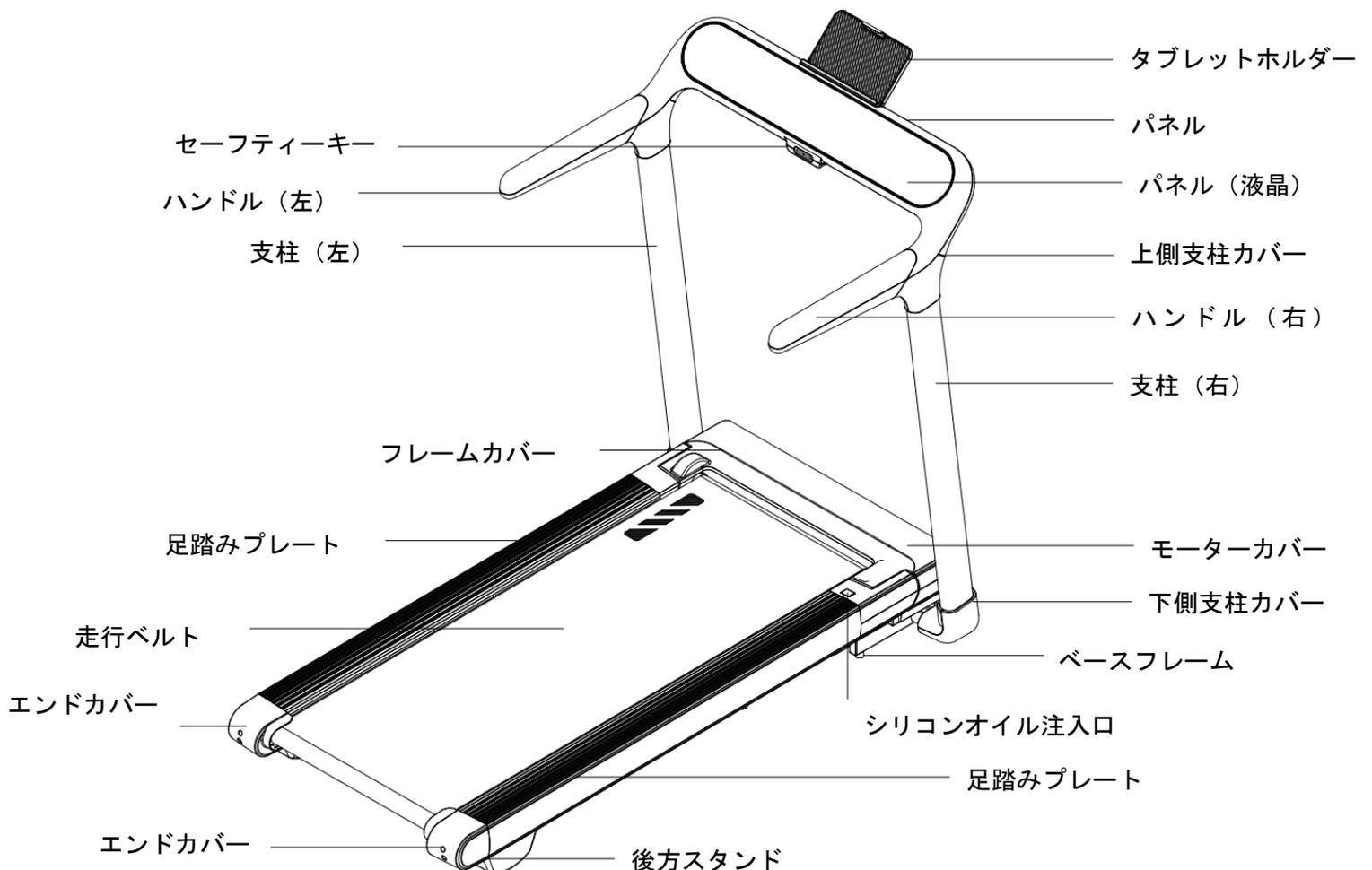
梱包内容

以下は、マシンを組み立てる際に必要なパーツとなります。 梱包を開け、不足しているパーツが無いかご確認の上組み立ててください。

No.	名称	数量
01	本体	1
02	タブレットホルダー	1
03	M8×20 ボルト	2
04	M8×15 ボルト	4
05	電源コード	1
06	セーフティーキー	1
07	ハンドル	2
08	心拍チェストベルト	1



部位の名称



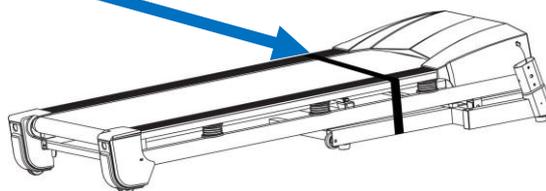
組立説明

組立を始める前のご注意

- ※ 開梱及び組み立て時は、必ず大人2人以上で行ってください。
- ※ 広い場所を確保した上で作業を始めて下さい。
- ※ 組み立てる前に、電源コードを接続しパネルが点灯するか確認を行ってください。
- ※ 本機を箱から出す場合、必ず走行面を上にし、本体が床面と水平になるよう設置した上で組立を行ってください。
- ※ 本体についているバンドは組立がすべて完了してから、はずしてください。
- ※ 各ステップごとのすべてのボルトを一旦、仮止めにし、仮止めが終わった後に、スパナ（レンチ）等で、強く締めてください。
（先にひとつのボルトを強く締めてしまいますと組立ができないことがあります。）

【注 意】

このバンドは設置場所が確定し、組立が完了してからはずしてください。
（先にはずしてしまうと、土台部分が跳ね上がり大変危険です）



ステップ1

- 図2のように、走行版の一番後ろ部分（赤枠）を両手で持ち、マシンを立たせます。
※マシンが倒れないよう必ず水平な場所に置いて下さい。

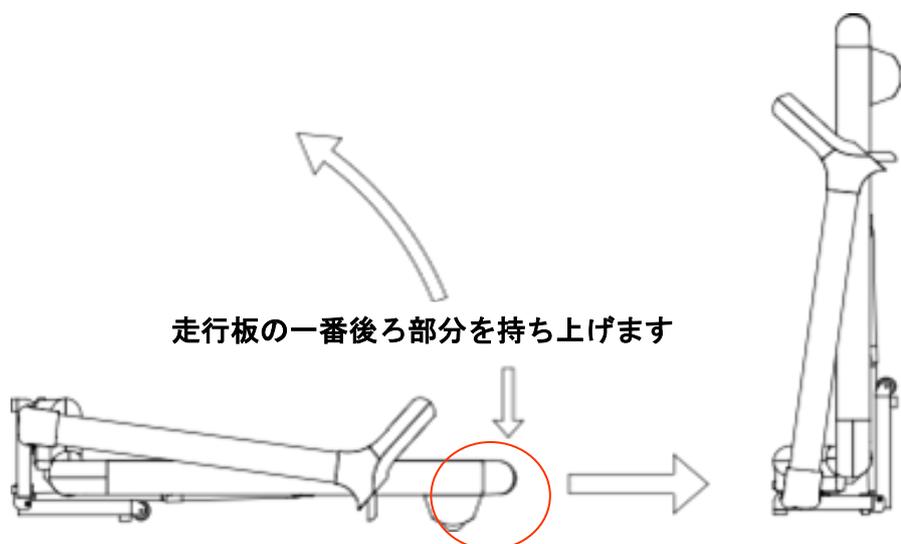
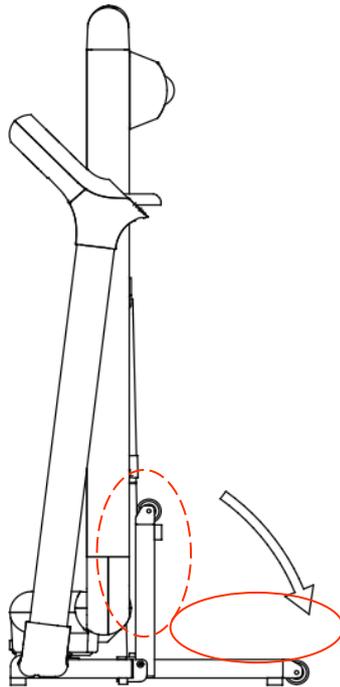


図2

ステップ 2

図3のように、ベースフレームを下ろします。

図 3

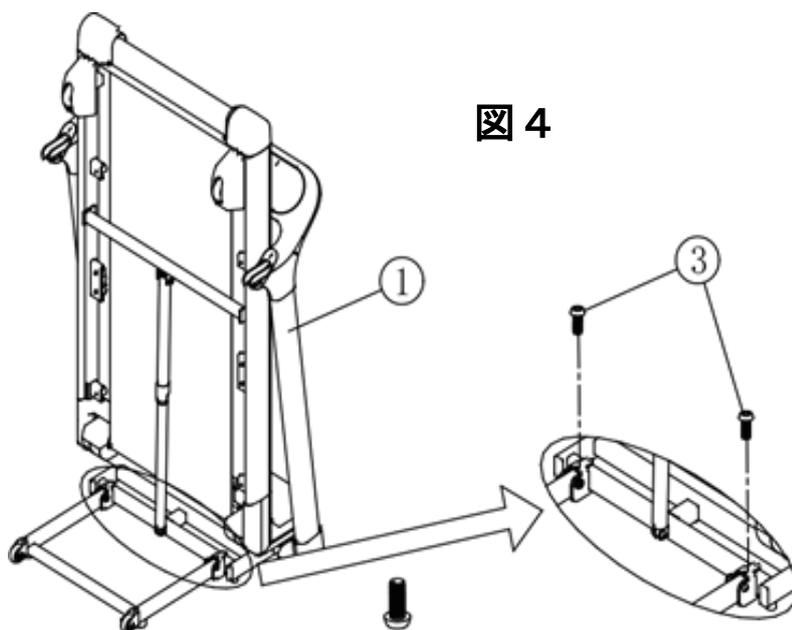


ステップ 3

図4のように六角レンチを使用し、

③ボルト M8 * 20 2本をベースフレームに固定します。

図 4



③ 六角ボルト M8 * 20×2本

ステップ4

走行板の一番後ろ部分を両手で支え、油圧シリンダー中心部を踏みロックを解除します。解除した走行板を軽く手前に引きながら走行板をゆっくりと降ろしていきます。

走行板の一番後ろ部分

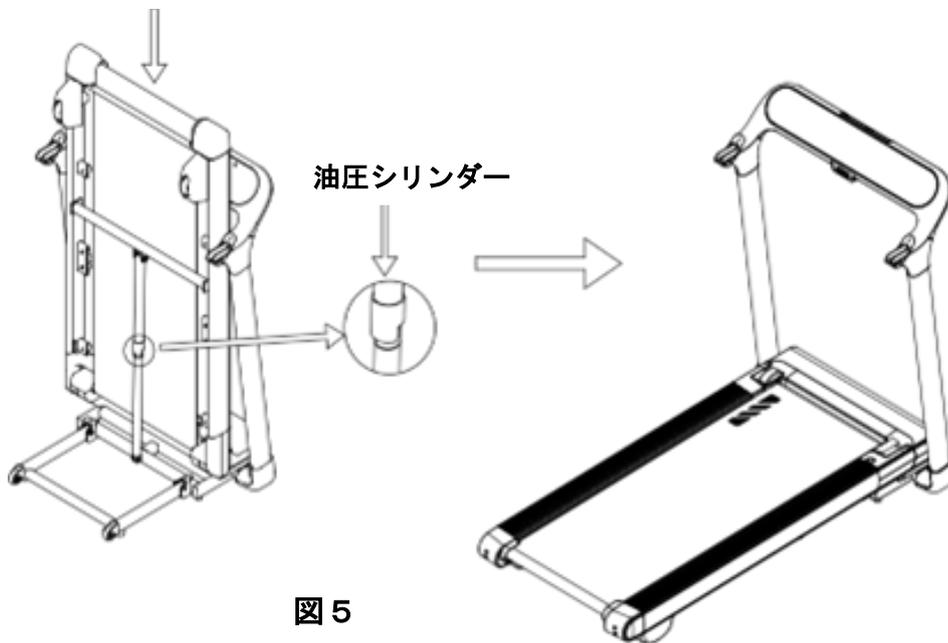


図5

ステップ5

図6を参考にし、矢印で示された方向に左ハンドルを取り付けます。

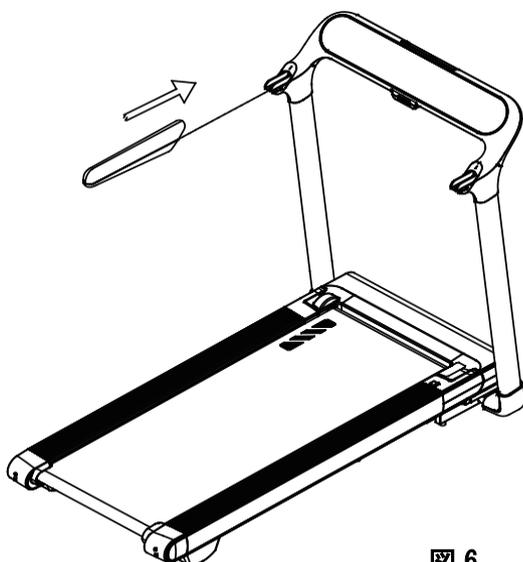
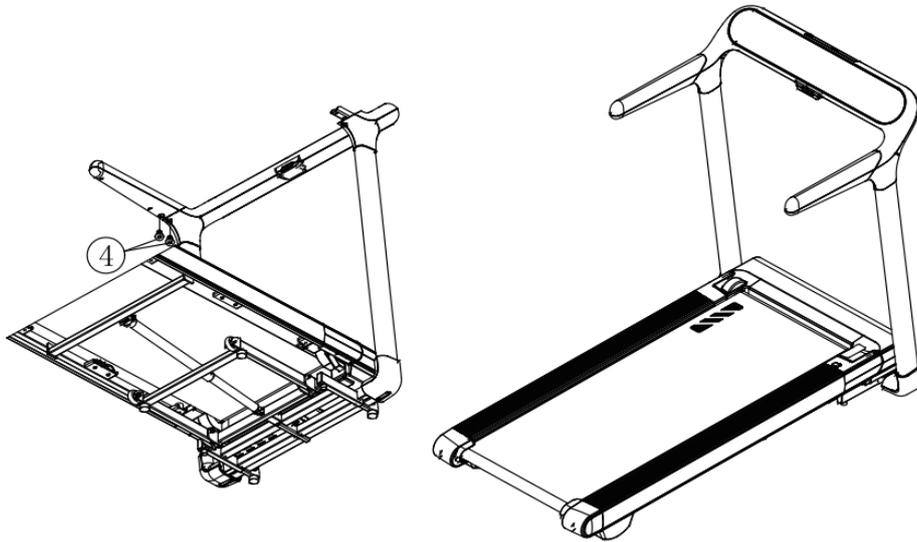


図6

ステップ 6

- ④ M8×15 ボルト 2 本を使い、左ハンドルの下から固定します。
- ⑤ M8×15 ボルト 2 本を使い右側のハンドルも左側と同じ手順で取り付けます。(図 7 を参照)



ステップ 7

 ④ M8×15 ボルト

図 7

タブレットスタンドをコンソールに取り付けます。(図 8 を参照)



図 8

ステップ 8

セーフティーキーをコンソールに取り付けます。

※セーフティーキーが奥まで差し込まれていることを確認してください。(図9を参照)

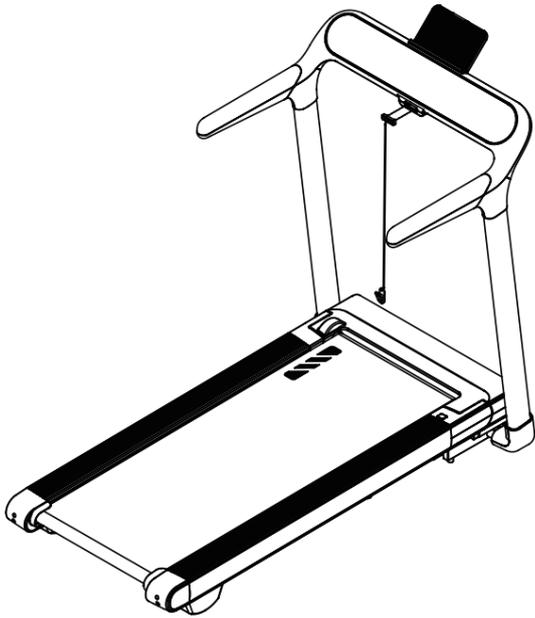


図 9

ステップ 9

図 10 が組立完了した状態となります。

各部位のネジのゆるみがないかご確認ください。

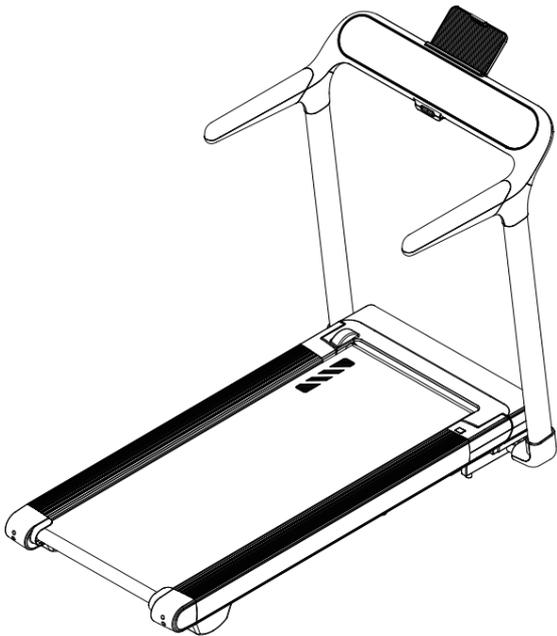


図 10

起動方法 (＊運動をする際には必ず運動靴を履いて行ってください。)

- 1 本機を折りたたんでいる場合、安全を確保し折りたたみを解除し、運動できる状態にして下さい。
- 2 電源コードをコンセントに奥までしっかりと差込んで下さい
- 3 電源コードを延長コード等、中継させるものを間に入れずに直接コンセントに差込んで下さい。
- 4 電源スイッチを入れて下さい。
- 5 ベルト脇の左右足踏みプレート中央部に乗り、メーター中央下部にある凹部に重なるようにセーフティキーを置いて下さい。(セーフティキーを置かない場合に「——」が表示されます。)
- 6 セーフティキーより伸びている紐の先端にあるクリップを衣服に付け、紐がたるみ過ぎない様結ぶなどして調節して下さい。(スピードについていけない時など紐のたるみがなくなり、セーフティキーが外れる事により、走行ベルトが止まり、全ての動作が停止します。)セーフティキーが外れると警告が鳴ります。
- 7 運動目的に合わせコンピューターの操作方法を参考に設定し、運動を始めて下さい。

終了方法

- 1 目標運動もしくは運動を終了する場合、まず安全に左右足踏みプレートに乗って下さい。
- 2 ストップボタンを押して、ベルトを停止させて下さい。
(セーフティキーを抜いて停止させないで下さい。故障の原因になります。)
- 3 安全に本機より降り、電源スイッチを切って、コンセントから電源コードを抜いて下さい。

* 電源を入れた状態で放置いたしますと、故障の原因になります。

運動終了後は速やかにスイッチを切り、コンセントから電源コードを抜くようにして下さい。

<使用時間を守ってください！>

本製品を末長くご使用していただくために、モーター保護等の観点から下記に示す使用時間を必ず守ってください。

1. 連続使用時間は 120 分までです。
2. つぎに使用するときには、先に使った時間の 2 倍以上の時間をおいてからご使用ください。
(例：30 分間使用⇒60 分間以上機械を休ませる。(スイッチ等も切る) ⇒新たに使用開始)
3. 一日の総使用時間の限度は 5 時間までとします。

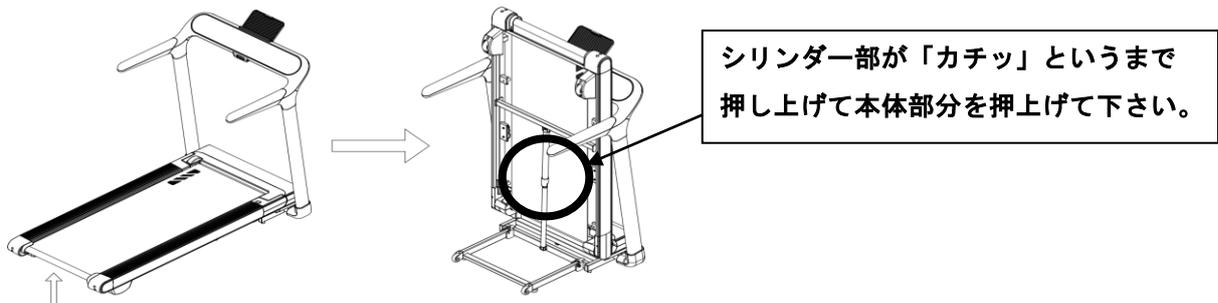
* シリコンオイルを定期的にも使用することもお忘れなきようお願いいたします。(P18 参照)

折りたたみ方法と折りたたみ解除方法

- ・本機の折りたたみとその解除を行う際、必ず床面が平坦であり、障害物に乗り上げていないことを確認して下さい。本機の水平が保たれていない場合、突然倒れ破損や怪我を負う恐れがあります。

折りたたみ方法

- 1 本体が平らな状態であることを確認してください。
- 2 電源コードをコンセントから抜き、両手で本体の後方を支柱側へ持ち上げて下さい。
- 3 走行部分を押し上げシリンダーがまっすぐで、確実にロックされていることを確認してください。



折りたたみ解除方法

- 1 本体が平らな状態であることを確認してください。
- 2 シリンダーの中心部を軽く足で押して解除します。解除した時本体を軽く手前に引いてください。(解除できない場合は本体を少し押しながら解除してください。)
- 3 手で本体を支えながら、下までゆっくりと降ろしてください。
* シリンダーを強く押ししたり、蹴ったりすると破損しますので、絶対にやめて下さい。



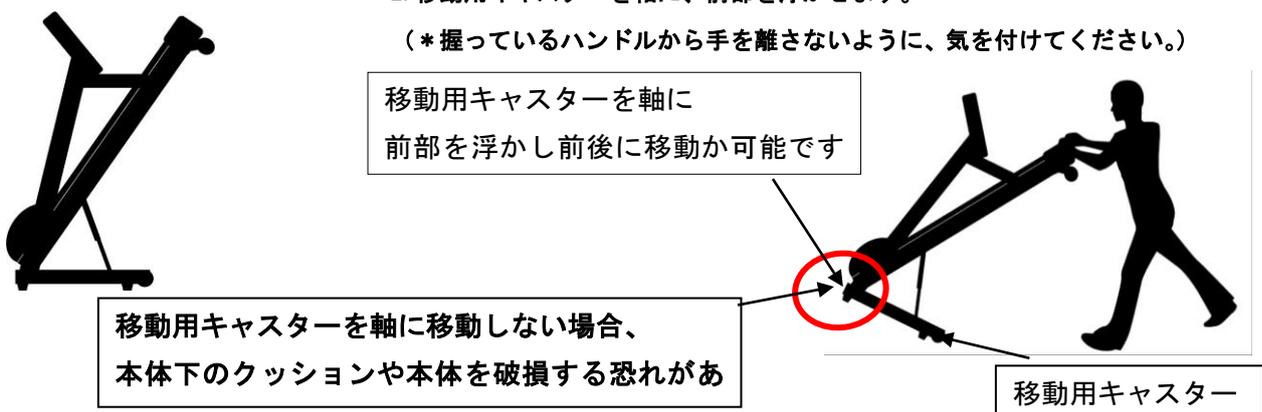
移動方法

- 本機の移動を行う際、必ず床面が平坦であり・障害物が周りがないことを確認してから行ってください。本機は重量がありますので、床面に傷がつくことがありますので、移動の際には敷物等をご用意下さい。(* 体力等に自信のない方は危険ですので、2人以上で行うことをお勧めします。)

1. 折りたたみ状態にします。

2. 移動用キャスターを軸に、前部を浮かせます。

(* 握っているハンドルから手を離さないように、気を付けてください。)



パネルについて



●パネル操作ボタンについて（ウォーキング、早歩きなどの日本語表示はありません）

セーフティーキーを所定の位置に置かないと作動しません。作動中に外れると走行ベルトが急停止します。

パネル：

時間、傾斜、心拍数、速度、距離、速度、Bluetooth、8つのカラフルな固定プログラムボタンを搭載しています。

心拍数表示について

心拍数は付属の心拍チェストベルトで計測することができます。ベルトは胸部かつ地肌に装着してください。

心拍チェストベルトを着けた状態で運動を開始すると画面に心拍数が表示されます。（表示されるまでには数十秒かかります。）

※簡易的に心拍数を計測しております。実際の数値とは異なりますので参考程度にご利用ください。

ボタンの説明

1. 各種ボタン：

Start/Pause、Stop、Speed+/-、Incline+/-、ワンタッチ速度調整ボタン 3km/h、6km/h、9km/h、ワンタッチ傾斜調整ボタン 3%、6%、9%。

2. 各種ボタンの説明：

2.1 「Start/Pause」ボタン：

- 1) 本体の電源を入れ、「Start/Pause」ボタンを押すとパネルに「3、2、1」とカウントダウン表示された後走行ベルトが動き出します。
- 2) 走行ベルトが稼働中の状態で、「Start/Pause」ボタンを押すと走行ベルトが一時停止します。すべての表示がカウントを停止し、速度表示が徐々に減少しやがて0に戻ります。
- 3) 一時停止の状態で「Start/Pause」ボタンを押すと、パネルに表示されている[PAUS]が消え、カウントダウン「3、2、1」と表示され再び走行ベルトが動き出します。

2.2 「Stop」 ボタン:

- 1) 走行状態で「Stop」 ボタンを押すとエクササイズを終了します。速度/距離ウィンドウに表示されている速度が徐々に減少していき、やがて0と表示されます。
速度が0に下がると、時間ウィンドウに合計の運動時間が表示され、速度/距離ウィンドウに合計の距離が表示されます。この表示中に「Stop」 ボタンを押すとスタンバイ状態に戻ることができます。
- 2) 一時停止状態で「Stop」 ボタンを押すことでエクササイズを終了します。時間/傾斜ウィンドウには合計の時間が表示され、速度/距離ウィンドウには最終的な移動距離が表示され、いずれスタンバイ状態に戻ります。このとき、「Stop」 ボタンを押すことでもスタンバイ状態に戻ることができます。

2.3 “Speed +” と “Speed -” ボタン:

ルームランナーが稼働しているときに速度を調整するために使用されます。

2.4 ワンタッチ速度調整ボタン「3、6、9」:

ルームランナーが稼働しているときに速度をすばやく調整するために使用されます。

2.5 “incline +” と “incline -”:

ルームランナーが稼働しているときに傾斜を調整するために使用されます。

2.6 ワンタッチ傾斜調整ボタン「3、6、9」:

ルームランナーが稼働しているとき、勾配をすばやく調整するために使用されます。

2.7 8つのプログラムボタン:

スタンバイ状態では、8つのプログラムボタンはうす暗い状態です。お好みのプログラムボタンを選択すると、選択されたプログラムボタンは明るくなりプログラムを決定します。プログラムを決定した後、お好みの運動時間を傾斜ボタンもしくはスピードボタンの“+、-”で設定します。

設定が完了したら「Start/Pause」を押すとカウントダウンとともにルームランナーが動き出します。

プログラムの負荷段階については下記の“8種のプログラムについて”をご参照ください。

8種のプログラムについて

(6つの自動プログラムと2つのテストプログラム)

時間	プログラム		負荷段階（縦軸が設定時間、横軸が負荷段階を表示しています。）																			
			1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20
15分	Relaxed walking	速度	2	3	3	4	5	3	4	5	5	3	4	5	4	4	4	2	3	3	5	3
		傾斜	1	1	2	2	2	3	3	3	2	2	1	2	2	1	1	3	3	2	2	2
20分	Brisk walking	速度	2	4	4	5	6	5	5	6	6	6	5	6	6	5	4	3	3	5	4	2
		傾斜	1	2	2	2	2	3	3	2	2	2	2	2	3	3	3	4	4	3	2	2
30分	Silent running	速度	2	4	4	6	6	5	7	8	8	6	8	7	5	5	5	3	4	5	3	2
		傾斜	2	3	3	2	2	3	3	3	2	2	2	2	4	4	4	6	6	3	2	2
30分	Variable-speed running	速度	3	5	5	6	7	7	5	7	6	8	8	5	9	5	8	6	6	4	4	3
		傾斜	2	3	3	2	2	3	3	3	2	2	2	2	4	4	4	6	6	3	2	2
45分	Cross-country running	速度	2	3	3	6	7	7	4	6	7	4	6	7	4	4	4	2	3	4	4	2
		傾斜	4	5	5	5	6	6	6	7	8	9	9	9	10	10	10	10	10	8	6	3
60分	Fat-burning running	速度	2	4	6	8	9	10	10	10	11	10	11	11	11	10	10	10	10	6	4	2
		傾斜	3	3	3	4	4	5	5	5	5	4	4	5	5	5	3	3	3	2	2	2

800m、1000m テストプログラム:

スタンバイ状態でこのプログラムキーを押し、選択後にカウントダウンが始まりテストを開始します。エクササイズが終了すると、タイムウィンドウには走行時間と距離が約 15 秒間表示されますのでエクササイズ結果を確認することができます。

この表示中に、STOP キーを押すとスタンバイ状態に戻ることができます。

セーフティーキー

トレッドミル稼働中にセーフティーキーが外れると、トレッドミル緊急停止されます。トレッドミルが急停止し、心拍数ウィンドウに[—]と表示されます。

傾斜自己検査

スタンバイ状態で、「Speed+」ボタンと「incline +/-」キーを 3 秒間押し続けると、傾斜セルフテスト状態になります。セルフテストが完了すると、ルームランナーはスタンバイ状態に戻ります。

無人停止機能

スタンバイ状態で、ワンタッチ調整ボタン「6」と「Speed-」ボタンを同時に 2 秒間押し続けると、無

人走行モードがオンまたはオフになります(ウィンドウは ON または OFF と表示されます)。 無人運転モードでは、5 分間マシンに人が検出されない場合、マシンは自動的に停止します。

スリープモード

スタンバイ中は 10 分間ボタン操作がない場合はスリープモードになり、画面が消えます。スリープモードでは、いずれかのボタンを押すか、セキュリティ ボタンを押すと、スリープモードが解除されることがあります。

合計時間と合計距離

「Stop」ボタンと「Speed+」ボタンを同時に 3 秒間押し続けると、合計時間と合計距離を入力できます。

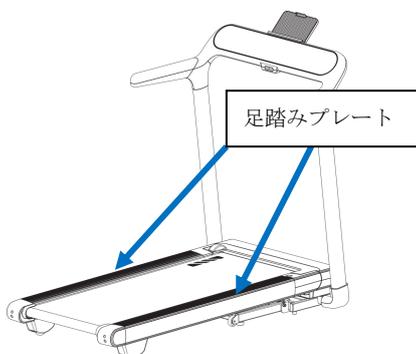
「Speed+」ボタンを押して表示を切り替えます。「Stop」ボタンを押して終了します。

運動をはじめするには・・・

*必ず足踏みプレートに足を乗せてからスタートボタンを押し、走行ベルトが

動いているのを確認してから運動を始めてください。

故障の原因になりますので必ず守ってください。



●すぐに運動を行いたい方の操作方法

1. 電源をオンにします。

2. (スタート)をおしてください。

* 走行ベルトが動きだしたのを確認してから運動を始めてください。

<運動中の調整>

速度を調整するには・・・パネルの (+)・(-) を 1 回押すことで

「0.1 km/h」ずつ変化します。(ボタンを押し続けると速度が徐々に変化し続けます。)

3. 運動を終了するときには必ず「ストップ」を押して終了してください。

<トラブルがおきたら>

下記のようなエラーコードや症状が起こった場合は、故障と判断される前に下記の点をお調べください。

エラーコード	エラーの説明	対策
E00	エラーなし	1. 電源を入れて使用します。
E01	過電流エラー	1. モーターや基板に大きい負荷がかかっています。 電流が高すぎるのが原因と考えられます。電源を切り数十分時間をおいてから再度電源を入れます。
		2. 負荷や電流が過剰になった場合システム制御によって走行ベルト、モーターが動かなくなります。走行ベルトを調整して再起動するか、潤滑油を追加し動作を確認します。
		3. モーターの運転中に過電流や焦げ臭いがないか確認します。モーターが不具合の場合は交換します。
		4. 基板が不具合の場合は交換します。
E02	コード接続のエラー	1. モーター配線やメインコードが正しく接続されているか確認し、再接続します。
		2. モーターを交換します。
		3. パネル、メインコードを交換します。
E03	基板過電流エラー	1. 基板に大きい負荷がかかっています。電流が高すぎるのが原因と考えられます。電源を切り数十分時間をおいてから再度電源を入れます。
		2. 電源プラグとモーター配線の接続が緩んでいないか確認してください。
		3. 基板、パネルを交換します。
E04	負荷調整機構のエラー	1. モーターワイヤーが正しく接続されているか確認し、再接続します。
		2. モーターを交換します。
		3. 基板を交換します。
E05	低電圧エラー	1. ご利用の電圧を確認します。(AC100V)
		2. 電源プラグとモーター配線接続が緩んでいないか確認してください。
E06	過電圧エラー	1. ご利用の電圧を確認します。(AC100V)
E08	基板エラー	1. 電源ソケットプラグとモーター接続が緩んでいないか確認してください。
		2. 基板を交換します。

エラーコード	エラーの説明	対策
E16	傾斜モーターエラー	1. 傾斜モーターの配線が正しく接続されているか確認します。 2. 傾斜モーターの配線を接続し、再度電源を入れます。 3. 傾斜モーターの配線を再接続し、動作確認します。
E17	エラーの修正	1. 傾斜モーターの配線が正しく接続されているか確認します。 2. 傾斜モーターの配線を接続した後、動作確認します。
E21	セーブ・データのエラー	1. 電源を切ります。 2. 数分後、再度電源を入れます。起動できない場合は基板を交換してください。
E22	通信エラー、システム制御のエラー	1. ボルトの緩みや外れがないか確認してください。 2. 基板が損傷していないか確認してください。 3. 電子時計が損傷していないか確認してください。 4. 電源を2分間切った後再度電源を入れます。
E30	モーターのエラー	モーター・基板・パネルいずれかもしくは3点すべて交換してください。
E31	基板、モーターが高温	スタンバイ電源の温度が正常になるまで待つてから、再度電源を入れて動作を確認してください。
E32	モーター反転	モーターワイヤーが正しく接続されているか確認してください。
E33	モーター・基板エラー	モーター・基板の交換が必要です。
「——」	セーフティーキーが差さっていない	1. セーフティーキーが抜き差しできるか確認します。 2. 安全スイッチ接続ラインのプラグが緩んでいるか、外れていないか確認してください。 3. 安全スイッチボードが損傷していないか確認してください。 4. 基板が損傷していないか確認してください。
E50	その他のエラー	

保守・運用について

走行ベルトの調整

本機は走行ベルト（以下：ベルト）を前後のローラーで引き、張りを持たせることで走行をさせています。現在ご使用になっている状態で足踏みプレート等にあたっていない場合には、現状で使用をお続けになってください。

もし、下記のような症状があった場合に、ベルトの調整を行うことをお勧めいたします。

* 注意：ベルト調整をする場合、3～5km/hの速度でベルトを回しながら、調整を行ってください。その際、六角レンチで調整ネジを回しすぎると、急激にベルトが偏りベルトを破損する恐れがありますので、慎重に調整を行ってください。

＜使用中、足を踏み込むと止まってしまう／空滑りをしてしまう＞

- 1 右調整ネジに六角レンチを差込右回しで90度回して下さい。
- 2 左調整ネジに六角レンチを差込右回しで90度回して下さい。
- 3 左右の調整後、一旦、ベルトを止め、自身で走行してみて止まり/すべりがいいかを確認して下さい。
- 4 まだ、止まり/すべりがある場合には上記1～3までの手順を繰り返し調節して下さい。

＜ベルトが持ち上がらない・走行ベルトの張りすぎ（縦に指2本程度入らない）場合＞

- 1 右調整ネジに六角レンチを差込左回しで90度回して下さい。
- 2 左調整ネジに六角レンチを差込左回しで90度回して下さい。
- 3 ベルト中ほどの左右どちらか片方の端をつまみ上げ、指2本程度持ち上がる状態に調節できたか確認して下さい。
- 4 まだベルトが持ち上がらない場合は上記1～3までの手順を繰り返し調節して下さい。

＜ベルトが右側の足踏みプレートにぶつかっている場合＞

- 1 ベルトを回し、速度を3～5km/hまで上げて下さい。
- 2 右調整ネジに六角レンチを差込、ベルトの寄りに応じて右回しに回して下さい。
（調整ネジを回しすぎますとベルトが急激に反対方向によりますので、調整ネジは少しずつ回してください。）
- 3 ベルトが徐々に左に寄ってきていることを確認して下さい。
- 4 まだベルトが右によっている場合は、1～3までの手順を繰り返し調節して下さい。

＜ベルトが左側の足踏みプレートにぶつかっている場合＞

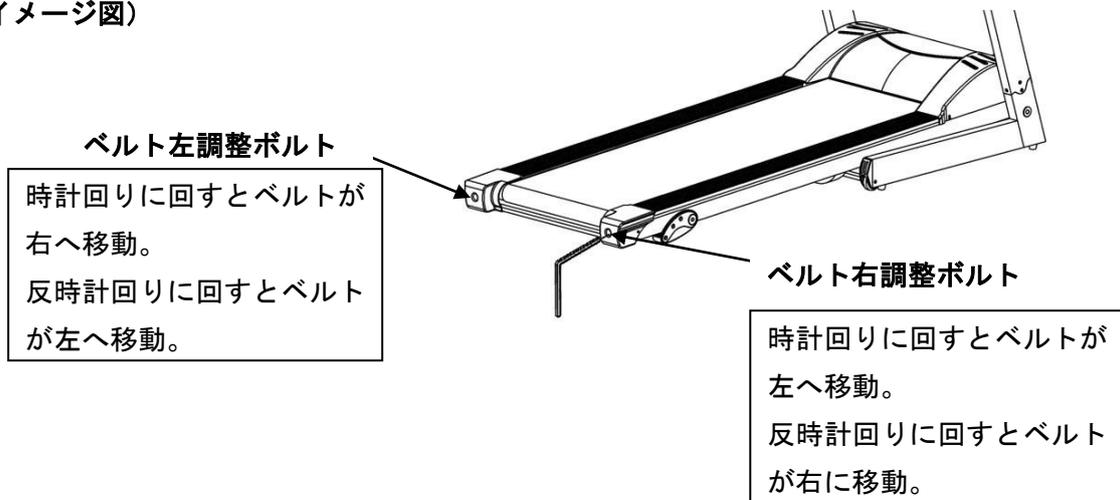
- 1 ベルトを回し、速度を3～5km/hまで上げて下さい。
- 2 左調整ネジに六角レンチを差込ベルトの寄りに応じて右回しに回して下さい。
（調整ネジを回しすぎますとベルトが急激に反対方向によりますので、調整ネジは少しずつ回してください。）
- 3 ベルトが徐々に右に寄ってきていることを確認して下さい。
- 4 まだベルトが左によっている場合は、1～3までの手順を繰り返し調節して下さい。

＜ベルト調整の注意点＞

左右の足踏みプレートにベルトが触れずに、回転をしていれば調整は完了です。

ベルトをプレートに擦ってキズをつけないように注意して行ってください。

(イメージ図)



潤滑剤（シリコンオイル）の補充

本製品の走行板（走行ベルト下の板）には工場出荷時に潤滑剤が塗布されていますが、ご購入後の時間経過やご使用頻度に伴いベルトの裏側やボード上に埃が溜まる等の原因で摩擦が増大し、ベルトの消耗が激しくなる・モーターの寿命が短くなるなどの現象がおき、本来の性能を維持できなくなりますので定期的に清掃と潤滑剤の噴霧が必要となります。

シリコンオイルを注入するときの注意点

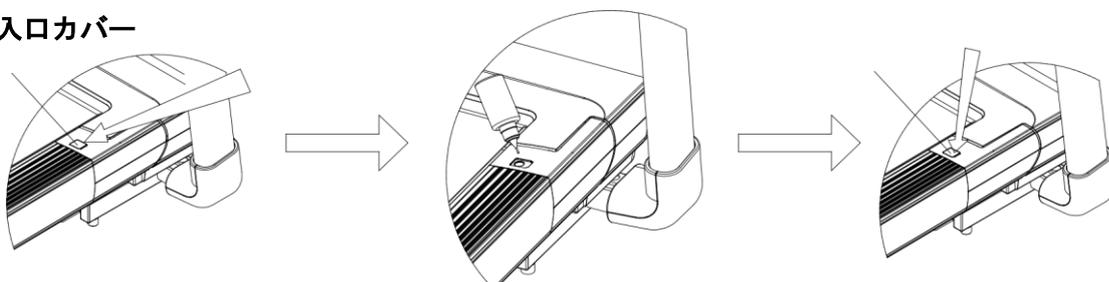
- ・シリコンオイルの入れすぎには注意してください。（入れすぎの場合ベルトが空回りしてしまいます。）
- ・走行ベルト表面にシリコンオイルが付着しないよう注意してください。
- ・シリコンオイルを注入するときには、本体、溝等に溜まっているホコリを取り除いてから、注入するようして下さい。

シリコンオイルはお近くのホームセンター等でご購入してください。

シリコンオイル注入口の位置について

- ・足踏みプレート右前方にシリコンオイル注油口があります。
注入方法については次ページ「シリコンオイル注入方法」をご確認ください。

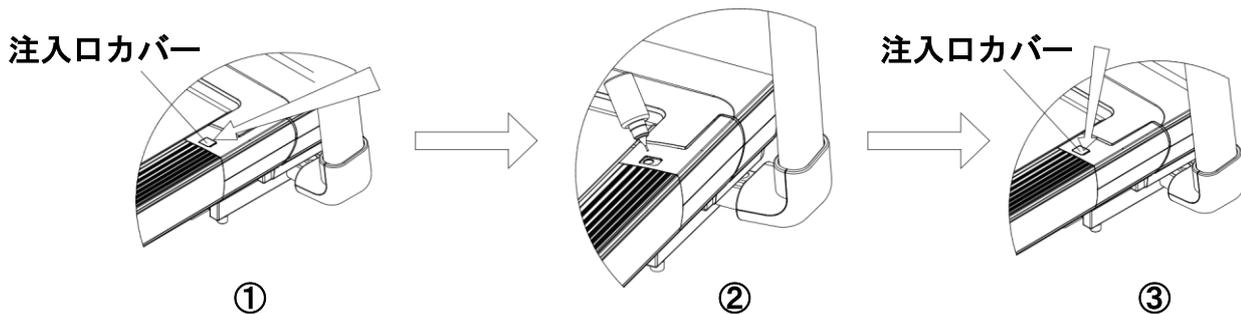
注入口カバー



シリコンオイルの注入方法

1. ①イラストの矢印で示されている右側のカバーを開けます。
2. ②イラストのように、シリコンオイルをゆっくりと注入口に落とします。
3. 電源を入れ、数分間ゆっくりと歩いてタンク内のすべてのシリコンオイルをランニングベルトに滴下させます。
4. その後は通常通りウォーキング、ランニングをしてご利用ください。

【注意】1回あたり 20～25ml 程度を給油しタンクから溢れるまでオイルを注入しないでください。



注入回数

- ・週に使用時間 3 時間未満の場合：10 ヶ月に 1 回注入
- ・週に使用時間 3～5 時間の場合：6 ヶ月に 1 回注入
- ・週に使用時間 5 時間以上の場合：3 ヶ月に 1 回注入

注入の目安量

- ・週に使用時間 3 時間未満 10 ヶ月に 1 回注入場合の量：15～20ml
- ・週に使用時間 3～5 時間 6 ヶ月に 1 回注入場合の量：20～30ml
- ・週に使用時間 5 時間以上 3 ヶ月に 1 回注入場合の量：30～45ml

保証書

本保証書は下記の保証期間ならびに保証条件にしたがって、無償修理することをお約束するものです。この保証書によってお客様の法律上の権利を制限するものではありません。

品名	DK-T220Y 家庭用 ルームランナー
保証期間	お買い上より1年間
お買上げ日	年 月 日
お名前	
ご住所	
T E L	— —

販売店：

- (1) 取扱説明書に従った正常な使用状態で故障した場合は、無料保証いたします。
- (2) 保証期間内に故障した場合は、お買上げ販売店・輸入販売元にご依頼ください。
その際には本書をご提示ください。
- (3) 保証期間内でも次の場合には保証は受けられません。
 - お買上げ後の移動、落下、転倒等の故障及び損傷
 - 本来の使用目的以外による故障及び損傷・ペット（動物）等に使用した場合
 - 火災、地震、風水害、落雷、その他天災地変・公、塩害等による故障及び損傷
 - 保管上の不備による故障及び損傷
 - 不当な修理、改造による故障及び損傷
 - 取付場所の床面の損傷
 - 本保証書の添付のないもの
- (4) 使用に伴う消耗品は、無償修理交換の対象になりません。
- (5) 一般家庭以外に使用された場合は、無償修理交換の対象になりません。
- (6) 本保証書は再発行いたしませんので大切に保管してください。
- (7) 保証期間が過ぎた後の故障については有償にて修理交換することが可能です。
- (8) 本保証書は日本国内のみ有効です。
- (9) 修理品についての運賃、諸費用は原則としてお客様負担でお願いします。
- (10) 本保証書は、お買上げ年月日、販売店名、販売店印が記載されていない場合、無効になります。
ただし、商品をお届けした際の配送伝票や販売日等わかる書類がある場合はその限りではありません。
- (11) 出張修理に関しては、保証期間内でも有償になる場合があります。

フリーダイヤル：0120-25-1622

*携帯電話、PHS、IP電話からはご利用になれません。

受付時間：平日AM10～PM12時、PM1～5時までになります。

輸入販売元 大広 株式会社
(<http://www.daikou-dk.com/>)

〒103-0007 東京都中央区日本橋浜町3-41-4 2F

TEL：03-5652-5056 FAX：03-5652-5078

受付時間 (平日AM10:00～12:00 PM1:00～5:00) 平日PM12～PM1・土・日・祝日休み